

13 総合的な学習の時間

I 本県が目指す総合的な学習の時間の授業

実社会・実生活の中から問いを見だし、問題解決的な活動を発展的に繰り返す中で、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく総合的な学習の時間

II 教材研究の充実

総合的な学習の時間の単元を構想する際のポイントとその具体

小4「伝えたい！わたしたちのA商店街の魅力」の例

学習指導要領に示された目標（資質・能力等）を確認する

自校の全体計画・年間指導計画を踏まえる

子供の視点から

①子供の興味・関心の理解

日頃の学習の様子、休み時間・給食の時間の会話、日記、家庭生活の様子などから、子供が興味・関心をもちそうな対象を考える。

②これまでの学習とのつながり

前年度までの学習を把握し、地域や発達段階に応じた探究課題を決めたり、課題意識が芽生えるようにしたりする。他教科等の学習からどのような子供が興味・関心をもつ問いが生まれそうか、年間指導計画を見通して考える。

例) A商店街について学んだ前年度の社会科の学習や人の温かさにふれたことから、「もっとA商店街について知りたい」「いいお店があるのになぜあまり人が来ないのか」という思いや問いが生まれ、追究が始まることを期待できそうだ。

学習対象の視点から

対象の価値や学びの可能性の吟味

子供と出合わせたい対象が、子供にとって夢中になって試行錯誤できるものであるか、他教科等との横断的な学習は期待できるか、地域や保護者を巻き込む協働的なプロジェクトになりそうかなどの視点をもって吟味する。

例) A商店街の活性化を目指す商工会の会長さんとかかわる中で、A商店街の魅力を認識し、発信する活動が期待できる。地域経済の仕組に触れることは、自己と地域との結びつきを捉えることにつながり、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成が期待できる。



←【おすすめの資料】

『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開』（小学校編・中学校編）

3つの視点の重なりから
中心となる活動を思い描き
単元が展開するイメージをもつ

学習の過程の視点から

①育成を目指す資質・能力の明確化

自校の全体計画と日々の子供の姿から、育成を目指す資質・能力を明確にし、単元の終末に期待する子供の姿を具体的に思い描く。

②探究的な学習における児童生徒の学習の姿を思い描く

【課題の設定】

体験・ウェビングなどによる教材研究を基に、子供が自身の捉えとのずれを感じる事実や憧れを感じる対象などに会う場を設ける。子供が問いを見だし、課題解決への見通しをもつ。

【まとめ・表現】

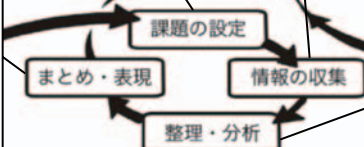
目的や相手意識をもって自分の考えを発信する。新たな課題を見付け、更に発展的な課題の解決に取り組むことができるように、成果と課題を検証する機会を設ける。

【情報の収集】

身に付けた資質・能力を発揮して情報の収集を行う。体験やインタビュー、文献、資料、インターネットによる調査、クラウドアンケートの活用など、多様な方法で情報を集める機会を設ける。

【整理・分析】

「比較」「分類」「関連付ける」などの考えるための技法を用いて、情報を整理する。その際、考えるための技法に対応した思考ツールを選択する。子供が納得するまで取り組むことができるように、繰り返し学習対象に働きかけることができる機会を設ける。



例)【課題の設定】かつて人が多く集まる場所だったA商店街は、郊外の大店の影響を受け、客の減少に歯止めがかからず、閉店が相次いでいる。何度もA商店街に通うことで、A商店街のよさを感じた子供たちだが、一方で客が減っている事実にも出会う。自分の認識と現実とのずれを感じた子供たちは、A商店街にかつての賑わいを取り戻すべく動き出すだろう。

Ⅲ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善例

【単元名】A商店街復活プロジェクト(全60時間) [小単元] 知りたい!わたしたちのA商店街の魅力(全18時間)

【単元の目標】A商店街復活プロジェクトに取り組むことを通して、A商店街のよさや支える方の努力や工夫を理解し、^{知識及び技能}A商店街の復活のために必要な情報を集め効果的な手立てを考えて発信すると共に、^{思考力、判断力、表現力等}課題解決のための見通しをもったり自己の取組のよさを感じたりしながら^{学びに向かう力、人間性等}協働的に取り組むことができるようにする。

【小単元の評価規準】 ()は評価規準を作成する際の観点)

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| ・商店街のよさやそれを支えている方の努力や工夫を理解している。 ^{概念的な知識の獲得} ・情報収集の技能を身に付けている。 ^{自在に活用することが可能な技能の獲得} ・商店街のよさへの理解は、人々の喜びに関わりながら、探究的な学習に取り組んだことの結果であることに気付いている。 ^{探究的な学習のよさの理解} | ・商店街や地域の実態から課題を設定している。 ^{課題の設定} ・多様な方法で情報を収集している。 ^{情報の収集} ・事象を比較したり関係付けたりして理由や根拠を明らかにしている。 ^{整理分析} ・目的や相手意識をもち、自分の考えを表現している。 ^{まとめ・表現} | ・商店街の活性化に向け、自分で設定した課題の価値を理解している。 ^{自己理解・他者理解} ・自分と異なる考えを生かし、協働的に課題解決に取り組んでいる。 ^{主体性・協働性} ・進んで商店街や地域の人とかめわったり、粘り強く活動に取り組んだりしている。 ^{将来展望・社会参画} |

【主な学習活動と評価計画】 (☆…「記録に残す評価」♡…「学習改善につなげる評価」)

| 時 | ○学習活動 () ^{児童の意識} () ^{端末とクラウドの活用例} | 評価の観点 | | | 評価方法 | 授業改善の視点 取組の具体例 |
|---|---|-------|---|---|---|-------------------|
| | | 知 | 思 | 態 | | |
| 1 ・ 2 | ○A商店街の実態から課題を設定する。 () A商店街の和菓子屋のお菓子は、お客さんに人気だったね。 () いい商店街なのにお客さんが減ってきているのはびっくり。どうして減ってきたのかな。 | | ☆ | ♡ | 児童が問題意識をもつ 繰り返し対象に触れたり、ずれや憧れを感じる場面を設定したりします。 ☆商店街の実態から自分の課題をもっているか、学習カードの記述から評価する。 | |
| 【児童の問い】A商店街にはいいお店が多いのに、どうしてお客さんが減ってきているのだろう | | | | | | |
| 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 | ○A商店街に関する情報を収集する。 () お店の方に話を聞いてみよう。 () 今は郊外の大型店に行く人が増えたみたいだよ。A商店街と何が違うのかな。 () A商店街と大型店の両方の客にインタビューしてみよう。 () 調査の様子を動画で記録し、振り返りの場面で繰り返し確認する。 () A商店街の活性化のために活動している会長さんに話も聞いたよ。 | | ♡ | ♡ | 個別に活動を選択する 話を聞く、アンケートを取る、他地域の情報を集めるなど、多様な情報を集められる環境を整え、選べるようにします。 地域の人とつながる 教師が、当事者、行政担当者、有識者などと打ち合わせておき、必要に応じて紹介しながら、つながりを促します。 ☆課題解決に向けて、多様な方法を用いて必要な情報を収集しているか、学習カードの記述や取組の様子から評価する。 | |
| 10 ・ 11 ・ 12 ・ 13 | ○整理・分析して納得解を見いだす。 () 大型店と違って何でも売っているわけではないけれど、どのお店も自分のお店の商品や仕事の専門家だったよ。 () お客さんは多くないけれど、その分よく会話をしてお客さんとながっている気がしたよ。 | ♡ | ♡ | ♡ | 様々な視点から分析する 比較する、分類する、関連付けるなどの「考えるための技法」や思考ツールを紹介したり、分析の視点を示したりします。 ☆問いに対する自分なりの納得解を導き出しているか、学習カードの記録や取組の様子から評価する。 | |
| 14 ・ 15 ・ 16 ・ 17 ・ 18 | ○目的をもってまとめ、表現する。 () ぼくたちが見つけたA商店街のよさや課題をまとめよう。 () 会長さんも「商店街のことを考えてくれて嬉しい」と話していた。 () 学習の成果を同時共同編集でスライドにまとめる。 () ぼくたちの感じたA商店街の魅力を地域の方にも伝えたい。 | ☆ | ♡ | ☆ | 必要感をもって表現を工夫する 地域への提案をするなど、目的や相手意識をもって発信する場を提案します。 探究的な学習のよさを理解する 他者評価をフィードバックし、自己の取組のよさを振り返る機会を設けます。 ☆探究的な学習のよさを理解し、相手意識をもって表現を工夫しているか、追究の姿や学習カードの記述から評価する。 | |

【児童の新たな問い】A商店街の魅力を地域の方に伝えるために、私たちに何ができるだろうか。